

# 情報通信事業における生産性・効率性分析 —NTTグループの財務データを用いた分析—

竹村敏彦\* 江良亮† 森脇祥太‡ 箆島専§

2008年1月

## 概要

本研究では、2004年度から2007年度中間期までにおいてNTTグループの四半期および半期の財務データをもとにパネルデータを作成し、確率論的生産フロンティア・モデルを用いて生産性および効率性分析を行った。その結果、まず経常収益ベースの純付加価値を用いた時、有形固定資産および無形固定資産、従業員数が正の経済効果をもつこと、規模の経済が存在することを確認している。次に、各企業の技術的効率性の推移を見てみると、いずれの企業にも差異がほとんど認められず、比較的高い水準にあることや技術的非効率性の変動は共通して季節要因が存在することも合わせて確認している。そして、NTT再編に関する議論のための材料を提示している。

KEYWORD: 情報通信業・確率論的生産フロンティア・生産性・効率性・生産関数

JEL CLASSIFICATION: C23, D21, O12, L23

---

\*関西大学ソシオネットワーク戦略研究センター ポスト・ドクトラル・フェロー、  
E-mail: takemura@rcss.kansai-u.ac.jp

†山形県立産業技術短期大学庄内校国際経営学科 専任講師、E-mail: era@shonai-cit.ac.jp

‡拓殖大学国際学部 准教授、E-mail: smoriwaki@ner.takushoku-u.ac.jp

§早稲田大学大学院国際情報通信研究科 客員准教授、E-mail: osajima@aoni.waseda.jp